

水のような振る舞い

イ チャンミン

日本語・日本文化研修留学生 韓国

来日以前からの日本についてのイメージは、韓国より発展している先進国というイメージだった。先進国の基準が何なのかははっきり知らないが、一般的には経済的に豊かな国を指す。しかし、日本での留學生活の間、私が驚いたのは日本の経済力より、日本人の振る舞いだった。それは、まさしく「水のような振る舞い」であった。「水のような振る舞い」とは何か。

和歌山には山が多く、小川に水が流れているのを見ることが多い。流れている水をよく観察してみると、水は重力に逆らうことなく、上から下に流れている。また、岩、木などの障害物と出会っても、抵抗せずに少しだけ方向を変えて流れていくだけだ。私は「水」と「日本人」は似ていると思う。自分と違う何かと出会っても抵抗、反発、逆らうことなどを極限にまで抑えて調和を実現する姿。その点で水と日本人は似て



画像1 「玉川」高野山・奥の院

いると思う。日本人の「水のような振る舞い」には何があるのだろうか。

バイト先に行く時の出来事だ。和歌山の自然環境を満喫するために、また運動も兼ねて、バイト先には自転車で行く場合が多かった。そして、自転車に乗って走っていると路地から本通りに出ようとしている車によって道が防げられている状況が頻りにあった。韓国でこのような状況になると、普通に自転車に乗っている人の方がその車を避けて行くのが当然だ。しかし、日本の場合は違った。十中八九、運転手さんは自転車に乗っている人に不便を感じさせないようにバックして道を開けてくれた。私はこの瞬間に今まで感じた事がない気分になった。逆に私のせいで相手がバックしてもらうことになって申し訳ない気分になってしまったのだ。私が自転車に乗ったまま、その車を避けて行く方が運転手さんがバックするより、手間がかからないと思ったからだ。自分の国でこれほどの思いやりは見たことがない。私は心からその振る舞いに感動した。

上記の内容と似ている経験は今住んでいる寮でもあった。寮にはエレベーターがあって寮を出る時や寮に戻る時に良く利用する。10階までの寮で私は3階に住んでいる。3階からエレベーターに乗って1階に降りる際には、既にエレベーターに上の階の人が乗っていることが多い。そしてエレベーターが1階に到着すると、先に乗っていた上の階の人が先に降りずに後で乗った私を待ってくれる。私はその瞬間には何も考えずに違和感だけを感じた。そして、後になって考えてみると、その違和感の正体は、二人しか乗っていないのにわざわざ私が降りることを待ちながらエレベーターのドアが閉まらないようにボタンを押してくれることだった。二人だけであつたら、私が降りることを待つより自分が先に降

りの方が時間的にもっと効率的だと思ったからだ。しかし、私はようやくその思いやりの本意が少し分かるようになった。韓国では、このような状況なら、エレベーターの外側にいる人が奥側にいる人を待たずに外側から順番に降りる場合が多い。問題はエレベーターに乗っている人数が多くなった場合だ。誰かがエレベーターのドアが閉まらないようにボタンを押してくれないと、最後に降りる人はエレベーターのドアにあたって怪我をする危険があるということだ。実際に韓国でこのような経験もあった。逆に日本は二人であっても、それ以上の大人数であっても、常に他人に対して配慮を示す。日本人はこのように日常生活での細かい部分まで繊細な思いやりがあって驚かされることが多い。誰かがやらせてから始める配慮でもない。ただ習慣的にそれを行っているだけだ。自分自身から先に相手を配慮することによって予めトラブルが起きることを防ぐ。そして、その配慮は細かい部分から始めるからこそ、日本人の「水のような振る舞い」が出来上がる。



画像 2「那智大滝（一の滝）」

日本語で話をする時も良くこのことが感じられる。日本人は日常会話で自分の主張を強く訴える場合は滅多にない。それは相手が自分と違う考え方を持っている場合、相手を困らせるかもしれないからであろう。逆に日本人と比べ、韓国人は自己主張が強いと感じる時が多い。自分の意見をはっきり言える方が良いかもしれないが、私は韓国人として日本人の「水のような振る舞い」を見習いたいと思う。どんな人と出会ってもスムーズに過ごせることが大事ではないだろうか。

日本語に良く見られる「あいづち」も同じ背景から始まったと思う。相手がどんな人間であろうとも「私は今あなたの話に耳を傾けています」ということを「あいづち」を使って相手に表している。そして、相手の話に集中していることを見せることによって相手との関係を保つことが出来るようになる。まさに、これは「水のような振る舞い」である。

しかし、韓国人の中には日本人の思いやりと話の仕方を見て、「どこまでが「本音」でどこまでが「たてまえ」なのか、ただ猫をかぶっているだけではないのか。むしろ素直な姿を見せるのが良いのではないか」と思う人さえいる。

しかし、私は「水のような振る舞い」は人間社会の一員として生きていく私たちに、必ず必要な美德だと思う。自分の話をするより相手の話を聞く。見返りを求めず、自分から先に相手に対し配慮を示す。私は来日してから半年以上経っているが、日本人の「水のような振る舞い」は日本の第一番目の魅力だと思う。火は障害物と出会ったら全てを燃やし尽くすが、水は障害物に反発せずに流れていくだけだ。また、石はその形が既に決まっていて、大きさや形が合わないと小さい器に入れることは出来ない。しかし、水は三角の器に入れても、四角の器に入れてもその形や大きさに合わせて変われる。私はこれからの人生で「火」でもなく、「石」でもない「水」のような人間になりたいのである。

Behavior Like Water

LEE CHANGMIN

Japanese Studies Student / Republic of Korea

When I came to Japan from Korea, I was surprised at Japanese 'behavior like water'. What is meant by 'behavior like water'? Water which doesn't resist gravitation flows from up to down, and flows naturally although water runs into obstacle such as rocks and trees. What are similar traits between water and Japanese? When I ride a bicycle in roads, I am sometimes blocked by a car emerging from a narrow path. Such a case in Korea, I should frequently avoid this car. But in Japan, I don't need to avoid this car because Japanese drivers go backward for me. And this is another example. When I use a lift in Korea, Koreans commonly get out of the lift earlier than other people. However in Japan, Japanese wait and press the button for the door to open. I realized that Japanese is considerate of others for realization of harmony in society. And I want to learn these Japanese 'behavior'.

물과 같은 행실

이창민

일본어 · 일본문화연수유학생 / 한국

나는 일본에 와서 일본인들의 '물과 같은 행실'에 놀랐다. '물과 같은 행실'이란 무엇인가? 물은 중력에 거스르지 않고 위에서 아래로 흐르며, 바위나 나무 같은 장애물을 만나더라도 자연스럽게 흘러갈 뿐이다. 이러한 물의 모습과 일본인의 모습은 어떠한 점에서 비슷할까? 자전거를 타고 길을 갈 때, 골목에서 나오는 차가 길을 막고 있는 경우가 간혹 있다. 한국에서는 자전거를 탄 사람이 차를 피해서 가는 경우가 많았지만 일본에서는 차에 탄 운전자가 후진을 하며 길을 터주는 경우가 많았다. 또 엘리베이터를 탈 때도 한국에서는 남이 먼저 내리는 것을 기다리지 않고 자신이 먼저 내리는 경우가 많은데, 일본에서는 둘만이 타고 있더라도 문이 닫히지 않도록 버튼을 누르고 기다려주는 것이 일반적이다. 나는 일본인의 남을 배려하는 마음(어떠한 상대와 만나더라도 '조화'를 실현하는 자세)을 배울 필요가 있다고 생각한다.

【画像 1 出典】一般社団法人高野山宿坊協会・有限会社高野山参詣講 HP「世界遺産高野山を知る」

<https://www.shukubo.net/> (2020年7月13日閲覧)

【画像 2 出典】和歌山県那智勝浦町観光協会 HP「南紀熊野 那智勝浦観光ガイド」

<https://www.nachikan.jp/> (2020年7月13日閲覧)